

CONTENTS

- 2 理事長挨拶(年頭のご挨拶)
- 3 地域連携室からのお知らせ
- 4 栄養管理科からのお知らせ
- 5 リハビリテーション科からのお知らせ
- 6 介護医療院のご紹介
- 7 医療法人悠紀会からのお知らせ

基本理念 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

- 基本方針**
- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
 - 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
 - 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
 - 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
 - 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

令和3年 新春

年頭のご挨拶

(医)悠紀会理事長 反後 敏夫



謹んで新春の祝詞を申し上げます。

昨年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により人々の日常生活は一変しました。グローバル化の潮流が反転し、危機意識は高まりつつも正しい事実に基づいた行動の難しさも知ることとなりました。これまでの当たり前が瞬く間に崩れ、更に加速しながら日々変化している状況です。身近なところでは、当院でもリモート面会が続いており、患者様やご家族様には大変ご不便をお掛けしています。画面に向かって「ばあちゃん、元気にしてるー?」と語りかけられている様子や、好きな歌を画面越しに歌ってあげられているご家族の姿を見ると、早く何とかならないものかと思うばかりです。この災厄の終息までにはまだ時間が必要と思われませんが、今後も気を緩めることなく、創意工夫を凝らし、励まし合いながら、難関を乗り越えたいと思います。

さて、次に日本の高齢化社会についても一言申し上げます。世界的に高齢化が進展する中でも、超高齢化が進む日本、そんな我が国で人生100年時代を迎えるには「ロールモデル」をひとり、ひとりが描くことが必要であると思います。豊富な老後には健康寿命、資産寿命、貢献寿命の3つが不可欠であると言われます。超高齢化社会においては、経済の活力が失われ、社会保障費が増大する暗い社会と考える面もありますが、視点を変えて問題を捉えることが大切です。高齢者は「弱いもの、支えられるべき者」ではなく、「自分や社会のためにエネルギーを使える人」として捉え、高齢になっても人生

をいかに有意義で健康に生きることが出来る社会が作られるかと思えます。「どう生きたいか」が尊重されること、このような中で今後の悠紀会病院としては、医療と介護が切れ目なく必要な方々に行き渡るような医療と介護が融合した地域密着型「めんどうみのよい」病院として、急性期病院から開業医の先生方、介護事業所や行政との連携を密にし、生きがいのある町づくりにも参画する、地域医療拠点病院として貢献できる姿を考えています。

医療法人悠紀会としては、職員が元気に働ける職場環境と健康維持への取組み、働き方の多様性への対応、次世代の若いスタッフ育成にも力を注いで参ります。職員一人ひとりが尊重され、教育的な環境の中で、生きがいや働きがいをもって自分の能力を発揮できる健康的な職場を目指したいと思います。私が信条としている「人間尊重」「大家族主義」を守りながら、全ての職員が少しでも「幸せ」を感じてもらえれば、それが患者様、利用者様により良い医療・介護サービスに繋がるものと確信しているからです。

本年も各医療機関の先生方、介護や福祉施設、教育機関の先生方、地域の皆様方とより密接な連携を取り、悠紀会病院としての役割を務めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和3年が皆様にとって幸多き年でありますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

地域連携室からのお知らせ

地域連携室のご紹介



新人職員紹介

11月より地域連携室に勤務しております村木晴恵です。前職は訪問看護に従事しておりましたので、在宅看護の経験をこれからの業務に活かしていきたいと思っております。慣れるまではご迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、1日でも早く仕事を覚え、病院や地域の皆様にお役に立てばと思っております。



今後どうぞ宜しくお願い致します。

地域連携室 看護師 村木 晴恵

※春号でご紹介した看護師 竹下恵美子は退職いたしました。

地域連携室 社会福祉士のある1日

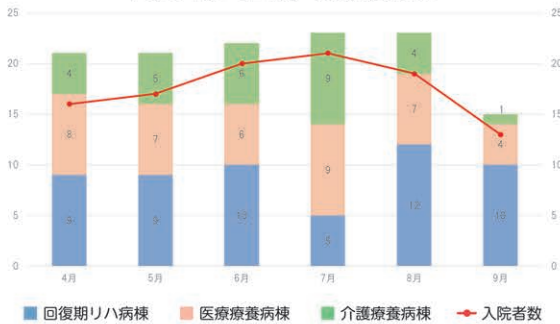
- 8:25 予定確認、朝礼
- 9:00 入院対応
患者様、ご家族と面談
病棟スタッフと情報交換
各種電話対応
他医療機関や介護サービス事業所等と連絡、調整
- 12:30 休憩
- 13:30 他職種カンファレンス参加
退院前家屋調査
- 15:00 退院前カンファレンス
- 16:00 相談業務(退院調整)
支援記録等の作成
- 17:30 終礼



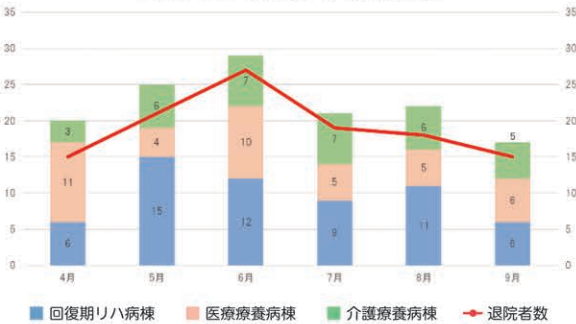
※次回より、医療ソーシャルワーカーのしごとを踏まえ、入院相談から退院までの流れについて地域連携室の業務特集を予定しています。

診療実績

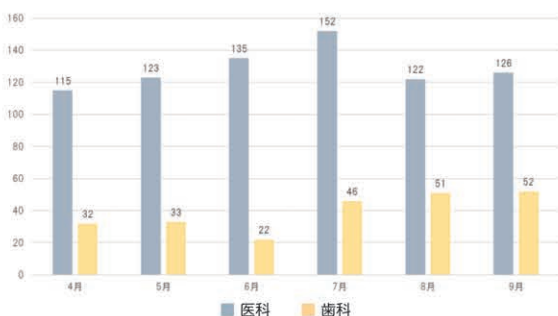
2020年度 上半期 入棟者数推移



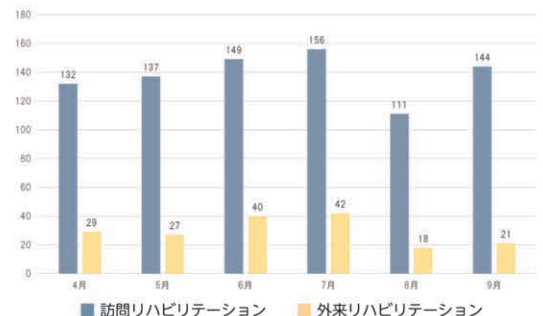
2020年度 上半期 退棟者数推移



2020年度 上半期 外来受診者数推移



2020年度 上半期 訪問・外来リハビリテーション実績数推移



令和三年 お正月おせちメニュー

当院では毎年、元日にはおせち料理を三食提供しています。



おせち料理の起源

おせち料理の由来は、豊作などに感謝して神様に供える「節供」に関係しているといわれています。

お供え物として作物で作った料理が、おせち料理の始まりです。



おせち料理の種類とそれぞれの意味・いわれ①

黒豆 邪気を払い、勤勉に働くことで丈夫に過ごせるように。

数の子 数の子は数がおおいことから子孫繁栄を表しています。

田作り 片口イワシを撒いて豊作となった田畑があったことから、五穀豊穡を表しています。

紅白かまぼこ 半月かまぼこは日の出を表し、赤は慶び、白は神聖の意味を持ちます。



おせち料理の種類とそれぞれの意味・いわれ②

昆布巻き 「喜ぶ」にかけて縁起をかついでます。

伊達巻き 伊達者が着用していた着物の柄が伊達巻きと似ていたことに由来、書が巻物にされていたことから、知識が増える事を願っている。

栗きんとん 黄金色をしていることから財宝にたとえられ、金運を呼ぶと言われます。

煮しめ 土の中で根を張る根菜が中心で、未永い幸せを願います。



リハビリテーション科

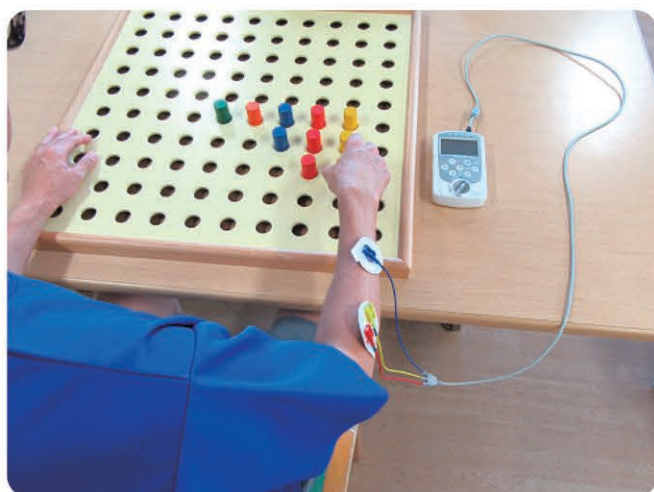
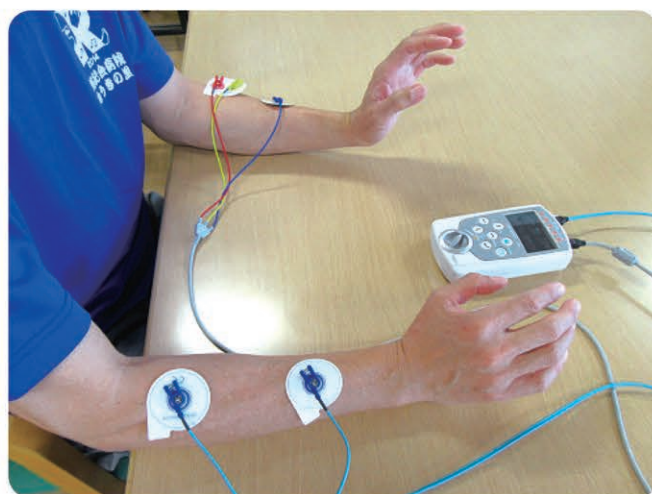
選ばれる病院を
目指す!

機能回復の
可能性を追求!

当院では、脳卒中片麻痺患者の運動麻痺や筋力低下などで動きにくくなった手足の動きを改善させるため、徒手療法・ミラー療法・CI療法などを行っています。

今回は、新しく導入した電気刺激治療器(IVES:アイビス)を紹介します。

IVESは、電気刺激を与えることにより、麻痺した筋肉の収縮を促す機器です。他動的な筋収縮から補助的な筋収縮へ移行し、最終的には日常生活で“使える手”になることを目標とします。



患者様の
声

「麻痺した手が動いてる感じがする・・・」

との声が聞かれ、随意運動を認識しやすく、動かしにくい動作を電気刺激で補うことで“物を握ったり、放したり”などの麻痺側の改善はもちろん、リハビリに対する意欲の向上も期待できます。

治癒過程により様々な使用方法がある治療機器。他の治療と併用しながら患者様の能力を最大限に引き出し、質の高いリハビリを提供します。

介護医療院のご紹介

2019年4月に介護病棟の一部を転換して『介護医療院ゆうきの里』を開設しています。
 介護医療院とは、「日常的な医学管理が必要な重介護者の受け入れ」や「看取り・ターミナル」等の機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた、新たな介護保険施設です。

●ご利用者様の介護度割合(令和2年12月末)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0%	0%	6%	55.5%	38.5%	4.5

入所生活のご様子



食事

3密を避け、ゆったりしたホールで食事を楽しんでいただけます。



レクリエーション

ベッドから離れた生活時間を設け、レクリエーションに取り組んでいます。



入浴

入所者様と職員共に負担を減らす「抱えない介護」を実施しています。



リハビリ

今ある機能の維持に努めています。

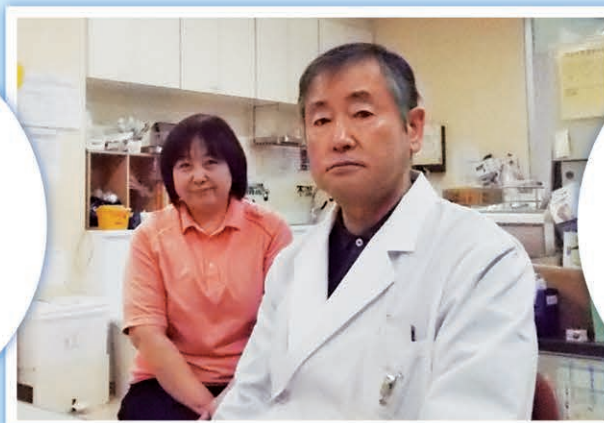
いつも元気に皆様のケアにあたっているスタッフです!



仕事と学業の両立も可能です。元気で楽しく働いています。

松井師長より一言

スタッフの心身の健康が、入居者様のケアの充実にもつながると思いつながるといながら、笑顔溢れる介護医療院を目指します。



松村医師より一言

安全・安楽・スピードを持って行動することを大切にして、職員一丸となって支援してまいります。

・医療法人悠紀会からのお知らせ・

献血 令和2年12月24日(木)

献血実施人数 31名

年末の恒例行事となった法人職員と関係業者様の協力による献血が行われました。

今年度は7月に続き2回目でしたが、結果31名の方々に協力いただき、担当の方からも「コロナ禍で希望者も減少しているので大変助かります」とのお言葉がありました。当日はとても寒い日でしたが、多くの方々にご協力頂きありがとうございました。



入職1年目中間研修が開催されました



今回の研修は、同期入職者との関係づくりや入職後1年の自分自身を振り返って、更に働きやすい職場づくりを目的として行われるものです。講義やグループワークを通してお互いに深め合う内容になっています。また、これまでは法人関連施設でのケア体験研修も行われていましたが、今回はコロナ禍にて中止となりました。当法人では、時期を決めて様々な研修を行い、患者様や利用者様にしっかりと関わることができる職員の育成を目指しています。



活動のお知らせ

「通いの場」協力事業所として活動しています！

玉名市では、週に1回、地域の公民館等で体操などを行う住民運営の「通いの場」が立ち上がっています。この特徴としては、地域の方々が主体的に運営し、筋力の維持や向上を目的とした体操等が行われていることです。現在、悠紀会病院のリハビリスタッフが2ヶ所に赴き、誰でも安全にできる体操等の指導を行っています。

※現在は新型コロナウイルス感染症対策のため3密を避けながら実施しています。
詳しい取り組み内容は次号にて特集を組みますので楽しみに！



今後の法人事業等のご案内

- 1月20日(水) 令和2年度身体的拘束等適正化研修Ⅱ
- 2月～ 法人ウェブサイト更新予定
- 3月21日(日) 休日在宅当番医



外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

診療科	月	火	水	木	金
内科	紫藤 忠博	高木 和男	松村 利昭	高木 昭宏 紫藤 忠博	
循環器内科			古森 顕一		古森 顕一
リハビリテーション科		伊勢 紘平 (整形外科)			山崎 裕子

診療科

●内科 ●リハビリテーション科 ●循環器内科 ●歯科(予約制)

相談、その他

● 外来・訪問リハビリテーション相談 ● 摂食嚥下相談 ● 整形外科相談

病棟構成

入院病床数 139床

回復期リハビリテーション病棟	32床
医療療養病棟	50床
介護療養型医療施設	57床

診療設備

マルチスライスCT撮影装置
X線テレビ装置
一般用X線装置
PACS(医用画像管理システム)
超音波診断装置
心電図モニター
生化学自動分析装置

関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院
- ◆介護医療院 ゆうきの里
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里
ゆうきの里 通所リハビリテーション
介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援)
- ◆グループホーム ゆうきの家
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市)
- ◆社会福祉法人ゆうき会
特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町)

アクセス



〒865-0011

熊本県玉名市上小田1063番地

TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821

ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携室へお尋ねください。

TEL 0968-74-1131

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。